



2学期ものこり1週間を切りました。県内ではインフルエンザが猛威をふるい多くの学校で学級閉鎖が行われているようです。玉小でもいくつかのクラスで学級閉鎖の措置をとりました。学級閉鎖は学校内で感染が広がらないようにするための措置です。クラスの2割以上の子がインフルエンザに罹患したり、発熱等インフルエンザの疑いがあったりした場合に検討します。インフルエンザの潜伏期間が1～3日なので、3日間を目安に、校医さんに助言を受けながら校長が学級閉鎖を決めます。なるべくなら回避したいのですが、感染の状況を考えながら、やむを得ず行うこともありますのでご理解・ご協力をお願いします。

2学期のまとめの時期ですので、振り返りをしっかり行い、3学期に向けて前向きになれるようにしていきたいと思えます。

誰もが幸せになれるように ～玉小人権週間～

12月10日の世界人権デーに合わせて日本では12月4日～10日が人権週間となっています。玉小もこの期間を玉小人権週間として、集中して人権の学習を行いました。全校朝礼で人権に関する話を聞いたり、それぞれ学年に合わせてDVDを見て人権について考えたり、人権擁護委員さんを招いて学習したりしました。

1～3年生では、友達にしてもらって嬉しかったことを葉っぱに書き、それを貼っていきクラスで「ありがとうの木」を作りました。「いつもあそんでくれてありがとう」「勉強を教えてくれてありがとう」「おもしろい話をしてくれてありがとう」「やさしくしてくれてありがとう」……たくさんのありがとうであふれています。

4～6年生は人権学習を生かして全員が人権標語を作りました。ありがとうの木と人権標語は廊下等に掲示してあり、誰でも見られるようになっています。

12月8日に行われた人権集会では、クラスの代表者が人権標語を紹介し、標語に込められた思いを発表しました。また、12月15日の音楽集会では「ピリブ」に手話を付けてみんなで歌いました。

人権は、普段は意識することはありませんが、奪われてはじめてその大切さに気がつくものです。「人の気持ちを考える」「思いやりの心をもつ」「自分も他人も大切にすること」……普段の生活の中で行動できるようになってほしいと思います。



人権標語

ほんとうにいいの？ その言葉 相手の気持ちも考えて	4年 松本 和佳
かんたんに きずつく言葉 言ってない？	4年 菊地 大聖
じょうだんのつもりでも 相手が傷つく言葉がある	5年 大野 扇
差別はダメ 相手の気持ちを考えて協力し合おう みんな笑顔になるよ	5年 高橋結愛夏
あなたが作る ちがいを許せる 心の輪	6年 小野 悠斗
どうしたの？ 支えてあげる その心	6年 小暮 颯斗

生きてるだけで100点満点 ～いのちを育む授業～

12月12日に助産師さんを招いて5年生で「いのちを育む授業」を行いました。これは群馬県助産師会が命の大切さを伝えるために行っている講座で、県内では150校で行われています。玉小でも毎年5年生で実施しています。今年度は保護者の方にも声をかけ希望者に参加してもらいました。

わずか0.2mm程度の受精卵が40週で3Kgまで成長することを人形をつかって説明してくれました。出産ではお母さんの力と赤ちゃんの生きようする力で生まれてくること、そしてまわりのみんなが生まれてくることを心待ちにしていたことなど、映像を見たり疑似体験を行ったりして説明してくれました。最後に、赤ちゃんの人形を抱かせてもらい、その重さにびっくりしている子も多くいました。

この授業を通して、命が生まれるしくみを知るだけでなく、生んでくれた親やまわりの人へ感謝の気持ち、そして、自分にも生きる力があるんだという自尊感情も感じる事ができたと思います。



冬の寒空に響く声 ～あいさつ運動～

12月11日からの1週間、5,6年生があいさつ運動をしました。5日間を委員会で分担し、北門と低学年棟の前で「おはようございます!」と大きなあいさつをしていました。寒くて背中も丸まりがちですが、あいさつすると目線も上がり背中も伸びます。

また、校庭のイチヨウの葉はがたくさん落ちてしまったので、代表委員会から落葉拾いのボランティアを呼びかけました。たくさんの子が昼休みに協力してくれ、あっという間にきれいになりました。気付いたことをどんどん行って、頼もしく感じます。



<二者面談より>

お忙しい中二者面談への参加ありがとうございました。二者面談で話題にあがったことを先生たちで共有したところスマホの問題点についての話が多く出ていたようです。夜遅くまでYouTubeなど見ているようだ、ライン等SNSでのやりとりが心配だなど、保護者が子どもの実態をつかめていないことに原因があると思います。

節度がなくなり学習や生活に影響が出たり、SNSでのやりとりが原因で友達関係がこじれたりすることは、よくあることです。このような問題があること十分に理解しておくことが必要があり、スマホを子どもに与えるなら、家庭でルールを作り徹底させることが大切です。〇時以降は使わない、フィルターをかける、SNSの内容は親に知らせるなど、子どもと話し合いルールを守らせるようしてください。学校では情報モラルの全体への指導はしていますが、個々のSNS内でのトラブルへの指導はできません。スマホはとても便利ですが、使い方を間違うと大変なことになります。子どもにスマホを与えることは、免許のない人に車を与えるのと同じだと言われます。ルールを守らせ、正しい使い方を教えて行くのはまわりにいる大人の責任です。

※玉小音楽祭の動画を限定公開しています。1月8日までとしますので、ルールを守って是非ご覧下さい。

玉小のホームページ

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

日々の学校生活を紹介しています。

QRコード

